

今週（6月23日から6月27日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続きビッドサイドの調達ニーズが堅調に見られ、出会いレートの水準は、0.475～0.478%程度で安定的に推移した。

無担保コールO/N物の加重平均レートは、23日(月)は0.476%となったが、24日(火)～26日(木)までは付利金利を上回る水準で纏まった金額の試し取りが実施されたことから、0.478%に上昇した。27日(金)は週末となったことにより試し取り要因は剥落したものの、概ね横ばい圏での取引が中心となった。ターム物に関しては、1W～3M程度の幅広い期間で引き合いが散見された。

日銀当座預金残高は、23日(月)に530兆円程度からスタートした。その後も大きな増減はなく、概ね横這い圏での推移となった。

●レボ市場

今週のO/N GCは、0.48～0.505%のレンジでの取引となった。23日(月)から26日(木)までは、0.48～0.505%の狭いレンジで推移した。6月末越えの取引にあたる27日(金)は、前場にレートをやや下げたものの、後場には0.49%まで上昇した。

SCはカレント銘柄近辺や、チーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、3Mゾーンが堅調に推移した。

27日(金)に実施された3M物入札は無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでは、小じっかりで推移した。

●CP市場

今週のCP発行市場は、月末週の発行にあたり、幅広い業態が大型発行を実施した。

市場残高は24兆円台前半から始まり、過後半には24兆円台後半まで増加した。

発行レートについては、0.5%以上で推移しており、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
6/23 (月)	38,354.09	1.405	146.45	0.476	0.492	5,300,700
6/24 (火)	38,790.56	1.415	145.50	0.478	0.487	5,301,100
6/25 (水)	38,942.07	1.395	145.00	0.478	0.485	5,298,100
6/26 (木)	39,584.58	1.415	144.75	0.478	0.485	5,306,000
6/27 (金)	40,150.79	1.429	144.55	0.477	0.483	5,299,200

来週（6月30日から7月4日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
6/30 (月)	5月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 5月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)				6月のシカゴPM景況感指数 1-3月期の英GDP確報値
7/1 (火)	6月調査の日銀短観(概要及び要旨,日銀 8:50) 6月の消費動向調査(内閣府 14:00)		10Y 7/2発行 26,000億円		6月のISM製造業景況指数 5月の米建設支出 6月のユーロ圏消費者物価指数速報値
7/2 (水)	6月のマネタリーベース(日銀 8:50) 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00)				
7/3 (木)	高田審議委員 三重県金融経済懇談会における挨拶 7月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50)		30Y 7/4発行 7,000億円		6月の米雇用統計 5月の米貿易収支 6月のISM非製造業景況指数 5月の米製造業新規受注・出荷・在庫
7/4 (金)	5月の全世帯家計調査(総務省 8:30)	TDB 3M 7/7 発行 43,000億円			New York祝日(Independence Day)

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
6/30 (月) 日銀予想	100	200	300	国債補完	800		800	1,100	地方譲与税譲与金払い TB3M発行▲44,000償還45,000
7/1 (火) 弊社予想	400	▲ 25,000	▲ 24,600				0	▲ 24,600	2Y発行▲26,000償還10,500
7/2 (水) 弊社予想	500	▲ 56,000	▲ 55,500				0	▲ 55,500	税・保険料揚げ 10Y発行▲26,000
7/3 (木) 弊社予想	▲ 500	0	▲ 500				0	▲ 500	
7/4 (金) 弊社予想	▲ 500	▲ 6,500	▲ 7,000				0	▲ 7,000	恩給 30Y発行▲7,000
週 間 合 計	0	▲ 87,300	▲ 87,300	—	800	0	800	▲ 86,500	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれる事から、0.477%近辺での出会いが中心になると予想される。債券レポGC T/N物は、0.47～0.505%のレンジでの推移が予想される。短国市場は、4日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、月初発行にあたり、発行案件がどの程度膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では、1日(火)に6月調査の日銀短観、3日(木)に高田審議員 三重県金融経済懇談会における挨拶
海外では1日(火)に6月のISM製造業景況指数、ユーロ圏消費者物価指数速報値、3日(木)に6月の米雇用統計、6月のISM非製造業景況指数などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。